

ほけんだより 1年生手洗い名人号

瑞穂野南小学校 保健室 R7. 12. 25

12月17日（水）の学級活動で、健康な体づくりに向けて手洗いの授業をおこないました。

事前に保健環境プロジェクトによる手洗いチェックに参加してもらい、普段の自分の手洗いによる洗い残しを確認し、その結果をもとに洗い残しがなくなる手の洗い方や、手洗いが必要な場面について考えました。手洗い名人を目指して、一生懸命取り組んでいた様子についてご報告いたします。



どうして手洗いは必要なの？



授業のはじめに手洗いをする理由について聞いたところ、『かぜをひっちゃう』や『バイキンが入っちゃう』など、手の汚れを落とすためだけではなく、風邪などの予防のためにも必要であることもしっかり理解している児童が多くみられました。汚れていないように見えても目に見えないバイキンがたくさんついていること、その手についたバイキンが体の中に入ると体調不良や病気の原因になることを改めて伝えました。



【洗い残しなくす洗い方】

事前に行った手洗いチェックから、洗い残しになりやすい場所について発表してもらい、どのように洗えば洗い残しがなくなるか、場所ごとに自分の洗い方を伝え合いながら、全員で洗い方を確認しました。

せっかくきれいに洗っても、濡れたままの手はバイキンがつきやすくなります。清潔なハンカチでしっかりと手がふけるように、毎日ポケットにハンカチが入っているか朝のチェックをお願いします。



【手洗いが必要な5つのタイミング】

最後に手洗いの必要な場面について考えました。手が汚れてしまった時はもちろん、汚れていないでも給食の前やトイレのあと、外から中に戻った時、掃除のあとには、見えない汚れやバイキンがついているかもしれませんため、しっかり手洗いしてほしいことを話しました。



【自分のめあてに向けて】

手の洗い方や手洗いが必要な場面など、学習したことを振り返りながら、これから的生活で意識したいことを考え、自分のめあてを決めました。



『みんなのめあてから』

- ・指の横をきれいに洗う。
- ・つめのまわりをがんばりたい。
- ・手首を洗うのを忘れていたから、洗えるようにがんばる。
- ・きれいなハンカチを使う。
- ・外から帰ったらちゃんと手を洗う。
- ・これからも手洗いを忘れずにがんばりたい。
- ・ゴミひろいをした後もきれいさっぱりにしたい。
- ・きれいな手になるようにしたい。
- ・トイレから帰ってきたら手を洗う。
- ・黒板を消した後に忘れずに手洗いしたいです。

【授業を終えて】

手洗いの学習のあと5日間のチェック期間を設定し、子ども達は自分で決めためあてを意識して生活していました。休み時間などに手洗いの様子を見ていると、『外から戻ってきたから手を洗わなきゃ』や『手首もしっかり洗ったよ』など話しながら、丁寧に手洗いをしている様子が見られました。学習した内容をとてもよく覚えてくれていて、その時だけでなく継続して手洗いを意識してくれていることを嬉しく感じています。本日、学習プリントを持ち帰りますので、ご家庭でも話題にしていただき、手洗いの生活習慣が続けられるよう声掛け、見守りしていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいいたします。